

●財団だより●

公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

2022 年度上期助成金募集のお知らせ

助成種目：第 37 回基礎医学医療研究助成金。基礎医学研究に関する一定の目的をもったプロジェクトに必要な資料、機材、書籍の購入や人材確保のための費用に対して助成金を交付します。

助成金額：規模に応じて 1 件につき 10 万円から 100 万円。予算 1,700 万円

応募条件：2022 年 9 月末現在で 45 歳以下であること。

応募期間：2022 年 6 月 1 日（水）から同年 7 月 6 日（水）まで。期間内必着。

応募方法：詳細は当財団ホームページをご覧ください。応募はウェブエントリーのみとなり、ウェブ以外による応募は受け付けていません。当財団ホームページからユーザー登録していただき、応募書類をダウンロードして必要事項を入力、応募願います。

申請は 1 教室 1 名を原則とし、過去 3 年以内（第 36 回、第 35 回、第 34 回）に基礎医学医療研究助成金で助成を受けた方は選考対象外です。

当財団 URL：http://www.kanehara-zaidan.or.jp

採否通知：審査結果は 2022 年 9 月に申請者ご本人へ通知します。

研究報告：交付後 1 年以内に研究成果報告書を提出していただきます。

ウェブサイトはこちら



公益財団法人金原一郎記念医学医療振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24 IS 弓町ビル 7 階

TEL 03-3815-7801 Email info@kanehara-zaidan.or.jp

次号予告

第 73 巻 4 号/2022 年 8 月刊

特集「形態形成の統合的理解」

ゲストエディター：平島剛志（京都大学）

特集によせて 京都大学 平島剛志

I. 形態の要素をつくるしくみ

1. 細胞とオルガネラのサイズ決定のしくみ 山口大学 原裕貴
2. 細胞の非対称パターンをつくる機構 北海道大学 茂木文夫
3. 胚発生における細胞骨格と細胞集団の協調的な運動 熊本大学 進藤麻子
4. 組織のかたちができる原理 大阪大学 近藤滋

II. 技術による推進

5. 光を用いた空間オミクス計測と形態形成への応用 京都大学 沖真弥
6. 組織変形動態の定量と器官発生 理化学研究所 森下喜弘
7. 3D 組織構造を誘導するフレキシブル細胞培養薄膜 量子科学技術研究開発機構 大山智子
8. 数理シミュレーションによる神経発生 金沢大学 佐藤純

III. 再構成系による理解

9. 細胞骨格の再構成と細胞機能の制御 京都大学 宮崎牧人
10. 再構成系による細胞集団の自己組織化 金沢大学 戸田聡
11. 呼吸器オルガノイドを用いた器官形成 理化学研究所 森本充
12. 脳オルガノイドを用いたヒト脳の発生・構造・機能・病態 関西医科大学 六車恵子

IV. 多様な生物種に学ぶ

13. ECM の変形による形づくり：ショウジョウバエ外骨格を例として 東京大学 田尻怜子
14. ホヤ胚の神経管閉鎖における力学機構 大阪大学 橋本秀彦
15. 体節空間パターンの多様性を生み出す遺伝子制御ネットワーク JT 生命誌研究館 秋山-小田康子
16. 昆虫の翅模様のエボデボ 北海道大学 越川滋行